

桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
桜井市粟殿588-7 吉田ただお事務所
☎/FAX:0744-46-4930
ホームページは以下検索して下さい

日本共産党市会議員 吉田忠雄



吉田ただお 3月議会報告 2020年5月号 No.78号

市民の声を把握するのが自治体の役割だ

新型コロナ対策

どうなる どうする



配布が始まった「アベノマスク」。一部に不良品の指摘も。予算は466億円。医療器具に使ったら？

吉田議員 政府による来年度予算案に、新型コロナウイルス対策予算が1円も計上されないことや、科学的な根拠を示すことなく、全国すべての小中学校、高校、特別支援学校に、3月2日から春休みに入るまでの全国一律休校を要請するなど、政府による新型コロナウイルス対策が大問題となっている。

「あいさつ」
3月定例議会が3月4日から26日までの23日間の日程で開かれました。吉田ただお議員は、提出された議案のうち、令和2年特別会計予算について「福祉に関する予算」の増額を県・国に要望するよう主張しました。3月10日の一般質問では、①済生会中和病院の統合・再編について②コロナ対策の2点について松井市長を質しました。

苦境に立っている多くの市民の声を把握する

松井市長はこのような政府の新型コロナウイルス対策について、どのように考えているのか尋ねたい。

自営業者から切実な訴えが

吉田議員

今、新型コロナウイルス感染症拡大が、世界と日本の経済を直面している。先日も市内で宿泊業を営んでいる自営業者から、「コロナの影響で、3月は予定していた宿泊客のすべてがキャンセルになった。市がホテルの誘致のために、固定資産税や水道料金の免除や減免をしているが、我々のような零細業者にもおこなってほしい」と切実な訴えがあった。

サービス利用者も増え給付も増えるという構造的な問題がある。国が国庫負担の増額をおこなうよう、要望をおこなってはどうか。

令和2年度 予算特別委員会での吉田議員の質問概要 ①

介護保険料について

吉田議員

介護保険事業計画が変わるごとに介護保険料の引き上げがおこなわれる。高齢化が進み65歳以上の被保険者が増えるにつれ、

サービス利用者も増え給付も増えるという構造的な問題がある。国が国庫負担の増額をおこなうよう、要望をおこなってはどうか。

松井市長

市市長会を通じて、要望をしたい。

後期高齢者特別会計について

丁寧な対応を今後も心がけていきたい。

福祉保健部長

市の方も訪問などをおこなって相談に応じるなど、丁寧な徴収体制をとられたい。

吉田議員

保険料の窓口払いの普通徴収の対象者は、経済的にも苦しく、寝たきりや引きこもりの方もおられる。市役所へ足を運ぶのも困難な方もいる。

実態把握に努めたい

松井市長

市内の飲食店や観光施設において、来訪者の減少による影響が出始めている。市としても商工会や金融機関と連携をして、中小零細企業の実態把握に努めていきたい。

水道料金の引き下げ、固定資産税の減免・猶予を

吉田議員

中小企業、小規模事業者の経営支援策として、国に対して徹底的な財政支援の要請をおこなわれた。市として

政府案の「持続化給付金」の概要

支給要件	売上げが半分に以下に減少
給付額	個人事業主・フリーランス 100万円以内
	法人 200万円以内
	(4月3日現在)

政府の給付金は条件が厳しくて、額も少ない。

